

「北海道マリンビジョンコンテスト 2025 表彰式」について



北海道開発局 農業水産部 水産課

令和8年7月7日に北海道マリンビジョン促進期成会(以下、期成会という)の総会が札幌市内で開催され、併せて「北海道マリンビジョンコンテスト2025」(以下、コンテスト)の表彰式が行われました。

コンテストは、各地域で策定された地域マリンビジョンの実現に貢献した優れた取組を表彰し、取組の更なる推進や他地域への活動の普及を図るため、期成会と北海道開発局との共催により開催しています。

今回、第16回目となるコンテストでは、最優良賞は根室地域(落石地区)マリンビジョン協議会、優良賞は登別・白老(虎杖浜)地域マリンビジョン協議会及びウトロ地域マリンビジョン協議会、奨励賞は三石地域マリンビジョン協議会及び根室地域(歯舞地区)マリンビジョン協議会が受賞し、それぞれ関係者に表彰状が授与されました。

受賞した取組の概要は以下のとおりです。

【最優良賞】根室地域(落石地区)

落石地区は、多種多様な水産物が漁獲される地域ですが、近年は海洋環境の変化や資源量の減少等による漁業者所得の減少が課題となっていました。

このため、根室地域(落石地区)マリンビジョン協議会では、地区内に水産加工処理施設を新設し、消費者ニーズを意識した水産物の高付加価値化に向けた取組を積極的に行っています。

また、令和7年度は、航空会社、大手総合物流企業、大手外食チェーンと連携し、根室産サンマを水揚げしたその日に首都圏の飲食店へ提供する「空飛ぶサンマプロジェクト」を実施しました。漁獲された直後の根室産のサンマを花咲港落石市場から航空輸送で直送することで、従来は困難とされていた「高鮮度の根室産サンマ」を首都圏の消費者へ届けことが実現しました。

これらの取組は、地域の知名度向上と水産物の販売拡大を継続的に推進する好事例であり、産地自らが都市部へ売り込みを行い、継続的な取引に結び付けている点が高く評価され、最優良賞に選定されました。



「空飛ぶサンマプロジェクト」で提供されたサンマ



最優良賞の表彰状授与の様子

【優良賞】登別・白老(虎杖浜)地域

登別・白老(虎杖浜)地域では、水産物のPRや地産地消の拡大、さらには都市と漁村の交流促進を目的として、水産物の販売を行う朝市・夕市を年に5~8回程度開催しています。令和7年度は、登別漁港及び白老港で計5回開催し、地元水産物の魅力発信に取り組みました。

本取組は、平成18年から継続的に実施されており、各市町のホームページや新聞折り込みによる周知に加え、インスタグラムを活用した情報発信や関連イベントの拡充などにより、毎回多くの来場者で賑わいを見せています。

令和7年度は、プレゼントキャンペーン付きの来場者カードの配布や、順番待ちの整列方法の見直しなど

を行い、来場者の満足度の向上にも積極的に取り組んでいます。

これらの取組は、長年にわたり継続して実施されている点や、地域の実態に即したイベント形式による集客が行われている点が評価され、優良賞に選定されました。



朝市・夕市の開催の様子



@ASAICHI.YUICHI_JF.IBURICHUOU



Instagramの活用やキャンペーンの実施

【優良賞】ウトロ地域

ウトロ地域では、サケ・カラフトマス資源の長期的な底上げと安定化を図り、自然産卵環境の保全と拡大による遺伝的健全性の確保をするため、サケ・マス自然産卵調査、可搬魚道試験、魚道清掃などを役場、漁協職員、香川高等専門学校の学生等と連携して実施しています。

令和6年度からは、釣人に釣竿3本、釣る尾数3尾を促す「斜里海浜サケ・マス釣りルール」を本格運用し、美しい海浜を保護し、サケ・マス資源の持続可能な利用に取り組んでいます。近隣市町と合同でルールの制度化や海岸清掃を行うとともに、釣人へルール順守の啓発活動を行い、海浜環境の改善や釣人の満足度向上につながっています。

これらの取組により自然産卵環境を保全する意義は大きく、生産力向上につながる活動として評価され、優良賞に選定されました。



斜里海浜サケ・マス釣りルール



釣りルールの啓発と清掃活動

【奨励賞】三石地域

三石地域では、資源量の減少に伴う漁業者所得の低下や高齢化の進行により、担い手不足や地場水産物の消費拡大が大きな課題となっています。

このため、三石地域マリンビジョン協議会では、漁業後継者の確保や担い手育成のほか、まちの水産業の現状や地場産食材の魅力を伝える大切な機会として出

前授業を行ってきました。これまで継続的に実施してきた出前授業を発展させ、宿泊を伴う大学生向け出前講座を実施することで、漁業への理解促進と関係人口の拡大に取り組んでいます。

また、地元の静内農業高校と連携し、低・未利用魚を活用したレシピを開発し、来年度以降、新ひだか町内の宿泊施設や飲食店等において「静農ブランド&漁港めし」として提供する予定です。

出前授業は、天候不良時の対応など課題もあるものの、長期的な交流人口の増加が期待される取組であり、さらに、レシピ料理の開発・提供は、地場水産物の付加価値向上につながる取組として評価され、奨励賞に選定されました。



&



静農ブランド&漁港めし
「からっと 魚(ギョー)ーテン揚げ」

【奨励賞】根室地域(歯舞地区)

根室地域(歯舞地区)では、衛生管理型市場・防災施設・海業支援施設の機能を併せ持つ歯舞漁業協同組合複合施設を活用し、一般観光客、教育旅行の学生、北方領土青少年視察団、都府県議会等の視察団体を受け入れています。来訪者に対しては、施設案内に加え、北方領土学習や貝殻昆布の歴史などコンブ漁業に関する説明を行っています。

一方、根室市内では宿泊施設が不足しており、来訪者の多くが通過型観光にとどまっていることから、宿泊機能の確保による滞在型観光への転換が課題となっています。

このため、根室地域(歯舞地区)マリナビジョン協議会では、滞在型観光の推進に向け、先進事例の視察や地域に適した導入手法の検討を進めています。

本検討は令和7年度から開始され、宿泊規模や運営体制の検討、大学生を対象とした試験的・段階的な展開などを実施しています。

こうした課題は多くの地域が抱えていることから、本取組は汎用性の高い好事例として評価され、奨励賞に選定されました。



宿泊施設の先進事例
(魚津漁業協同組合経営の「渚泊魚津丸」)

